



ロージナ茶会 総統

しらた ひであき

白田 秀彰

「できること」を現実化。

技術応用への、法的制度的障害を
大胆に撤廃していきます。

技術実用都市 東京を実現

ネットの自由を擁護し、言論表現の自由を守ります。
行政過程のすべてにおいて合理化を進め、文書量、記述量の削減を数値目標を示して進めます。

都への申請手続きその他の事務を、すべてオンラインで処理できるよう改善します。
在宅勤務を可能にするため、ネットのプライバシー技術、セキュリティ技術開発を進めます。

今ある技術を応用し、自然力中心の都市計画をすすめます。とくに交通においては自転車を優遇します。
既存原発の安全性評価と必要電力量を見ながら、漸進的な原発廃止を目指します。
都議会にニコニコ動画と類似したコメント機能を導入します。

分散防災都市 東京を実現

諸機能が集まりすぎた都心は、災害に対して脆弱です。在宅勤務を推進し、可能な限り人が都心に集まらない都市づくりを目指します。
都心に人が集まらない環境は、鉄道・道路や上下水道といった都市の基盤機能の更新が課題となる。これからの時代に、財政負担を軽減することが期待できます。

在宅勤務の推進、サテライトオフィスの配置によって二十三区外への行政機能の分散をはかり、東京都周辺市部の活性化とともに、災害時に行政が機能し続けられる仕組みを整備します。
都市分散によって、人口偏在を是正し、過疎問題の解決を目指します。

若者の希望あふれる 東京を実現

都の行政機構の刷新のための人材を若年層優先で募り、また情報技術関連企業への業務発注することで、この領域の産業を支援します。
すでに制度疲労を起こしている学校制度を合理的に再編し、登校しなくても十分な教育が受けられる在宅・遠隔教育の仕組みを研究・開発・整備し、年齢や境遇を問わない教育機会の拡大を目指します。

在宅勤務技術を都が推進することで、民間にもこうした就業形態の採用を促し、若年層の生活実態に親和的な雇用環境を推進します。
「自宅警備員」を、「ネット警備員」「自宅周辺警備員」に改編し、都の嘱託職員として位置づけることで、若年失業の解消を目指します。



平和を愛する
ロージナ茶会